

参加者、

浅田、伊東、北島、田中、高橋、中島(邦)、  
古川、山岡、山下、田中、遊佐、横関、  
ゲスト一棟、

BMW RS Club

# かわらばん

Nov 5, 2000

彼岸桜の伊豆で始まり初冬の海  
を眺めつつ楽しく伊豆で締めた  
今年最後のツーリング

かわらばん-中島 邦雄 挿絵-小倉玲子

色づいた木々の葉が落ち始め秋が深まる頃に、その年初めてふと寒さを覚え、体が震えるように感じるのが漫寒(ぞぞがむ)と言われるもの。そんな“ふと”した微妙な感覚をとらえた言葉が、季節を語る日本語の美しさでしょうか。しかし今年ばかりは何時になっても例年のような季節の変化が見られず、冬眠に入る北国の熊やリス等はどうしているかと、つまらぬ心配をしています。七日は立冬、暦の上ではもう冬の到来となり、22日は早くも24節気の小雪というのに、近頃の異常気象ではこうした徐々に変わってゆく季節の気配を、敏感に言葉で感じとれなくなりそうで、何か風情に欠ける気がしてなりません。

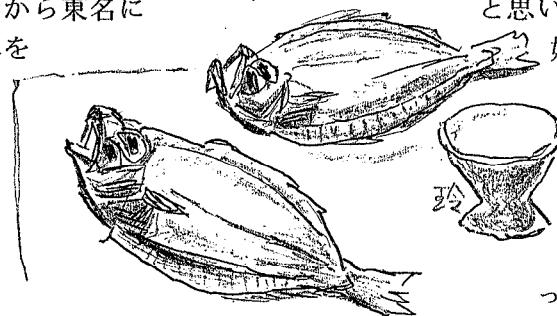
度々ウソをつかれている天気予報によると、ツーリング当日は午後より50パーセントの雨との御託宣。それを信じた方も多いませんが、誰もが当然中止になると思ったか、前の晩は遅くまで飲んでいたり、遊び歩いていたというメンバーが、朝からお天道サマが出ているのを見て、慌てて東名高速「海老名SA」へ駆けつけてきました。気温が上がってやや霞のかかったような状態となり、晴天ながら何時も渋谷の辺りで顔を出す富士山は見えず、周囲の山々の連なりがボンヤリと見られます。この天気に誘われたか高速の車もだいぶ出てきました。レースの練習中に鎖骨を傷めて、バイクに乗れないという並木さんが「今日は混むよ」と言いながら見送りに来てくれました。年をよく考えないと、半身不隨にでもなったら困りますよ。13人の仲間が揃ったところで時間となり、今年最後のツーリングに伊豆方面に向かって出発です。気温もだいぶ上がってきました。ほんの一走りの「秦野中井IC」で高速を降り、国道50号線に入り二宮、大磯を過ぎ、西湘バイパスに入りました。

湘南の見事な海が左手に広がり、穏やかな遠浅の海にはスカン帆を立てた、キス釣りの舟が点々と浮かんでいます。暫く来ないうちにスッカリ奇麗になった「国府津SA」に入り、たくさんのバイクに混じって、我々もしばし休憩しました。すぐ目の下では投げ釣りを楽しむ人が浜に点在し、子供や犬が元気に走り回り、穏やかな海が広がってのどかな風景です。此処から少し走って早川へ向かいましたが、誰かが鉄材を積んだトラックを抜いた時に、運ちゃんがカチンと来たことが有ったらしい、奴が車を揺すり顔を出してわめいていました。キット前の晩に女につれなくされたのだろうと話しました。真鶴の旧道に入ると左手に海上三里と言われる初島が浮かび、右手にはミカン畑の広がる中を走りますが、やはり海は少し霞んでいて、裾野の長い感じの伊豆半島が、半分ほどしか見えません。

さらに熱海ビーチ・ラインの有料道路を避けて旧道を走りました。春先には見事な花をつける、桜の巨木の連なりの中を走り、近頃はまるでサビレてしまった熱海の町を抜け、更にローマ風呂の大野屋の前を左に上がってトンネルを抜けると、急に目の前が開け、かつての自殺の名所だった錦ヶ浦に到着して休憩です。岩が多くて飛び降りたら死ぬにも痛そうです。すっかり整備されて階段が付けられ、下の方へ降りて行くと「ホテル・ニュー・アカオ」の奇麗な庭が見えました。此処か見えるあの「ホテル・赤根崎」は、近頃の不景気で店舗舞いをしてしまったとか。一昔前にこの辺りで釣りをしながら、もう一度結婚した時には、このどちらかに泊まろうと思ったことが有りましたが、その一つが無くなり何か寂しく感じました。

網代、伊豆田賀から賑やかな伊東駅前に着き、そこの細い道に入った処に、今日の昼飯処「かっぽれ」が有りました。今日の幹事役の北島さんの話では、此処の親父は「家では地物の魚しか使わない」と豪語しているとか。早速ゾロゾロと二階の座敷に入りました。サメ皮のおろし板でさびを下ろし、鮪、ヒラメ、オキザワラの刺し身をつまむと、ほてった体にビールがしみこむように入りました。野菜のうま煮もユズの香りの塩辛も上々で、最後に一つずつ炊き上げた釜飯が出ました。一時半に外に出ると、お客様が並んで待っています。駐車場にフリスビーを追いかける犬が居て、暫く一緒に遊び帰途に就きました。ソテツの茂る海岸線を少し走って左に入り、我々の定番コースの伊豆スカイラインへ向かいました。海辺の爽やかさも最高ですが、山の緑も何か気持の安らぎが感じられます。亀石峠で酷い事故のバイク写真を眺めて気を引き締め、一気に峠を走り始めました。11月だというのに、紅葉には未だ少し早い中に、富士山が聳え立っていました。いつもとコースを変えて、箱根峠から芦の湖畔に向かうと、関所の辺りは大変な渋滞で動きが取れません。旧道を畠宿や湯元方面に下り始めると、先頭グループから無線が入り大変な混みようとの事。高橋、安田、中島の三人で途中から箱根新道に入ると、アッという間に料金所に到着です。我々が走り出して暫くして、先頭グループが着いたという無線が入りました。

小田原・厚木道路も未だそれ程には混んでいませんでしたが、東名で事故が有ったそうで、厚木の料金所から東名に入るために動かず、そんな中をバイクの特典を生かして走り抜け、解散地の「海老名SA」に終結しました。今日で会長・田中さんのお役目が終わりますが、個人的には有ったようです。がクラブでの事故は一件も無く、本当に良かったと周りの我々も嬉しく思いました。そして他の役員の皆様も本当にご苦労様でした。出来ることなら、もう一期の



お役目を勤めて頂きたいと思うのは、私だけではないと思いますが、どうでしょうか。こうして書き始めて、もう六年にもなりますが、この二年間に走った日々の事も、本当に懐かしく思い起こさせてきます。今年の蒲郡への旅も、そして能登半島へ行った時の、あの30数度の暑さも、今になってみると、楽しい思い出になりました。来年以降もまた楽しい、素敵なものと、会員の誰もが思っている事でしょう。

今年も一年の間、そして変わり映えもしない「かわらばん」をご愛読下さいまして、本当に有りとうございました。長く書く程に、このまま書き続けて良いものかと、自問自答を繰り返しています。どうぞ忌憚のないご意見をお聞かせて下さい。ご多忙の中を挿絵を描き続けて下さった小倉さん、毎回お手伝いをして下さった安田文江さん。心より感謝申し上げます。